

確認テスト

所属 _____

氏名 _____

高齢者に多い疾患（腎不全・腎機能障害）

1) 腎不全・腎機能障害に関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 慢性腎不全が悪化すると、透析治療の必要性が高くなる。
- ② () 慢性腎不全は、塩分を少なくすることで進行を抑えることができる。
- ③ () 透析には、血液透析と腹膜透析がある。
- ④ () 透析治療中における食事制限の内容は、タンパク質を大量に摂取しない、水分制限を厳守する、塩分・カリウム・リンの摂取を制限する、である。
- ⑤ () 透析治療を行っていても、牛乳はたくさん飲んでもよい。

2) 腎不全・腎機能障害に関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 若いころから塩分の多い濃い食事を好んで食べていると、腎機能障害を起しやすいつとされている。
- ② () 肥満や喫煙も、腎機能障害の要因の一つである。
- ③ () 若いころから血圧が低かった人は、腎機能障害になりやすい。
- ④ () 糖尿病合併症に腎機能障害がある。

3) 腎不全・腎機能障害に関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 血液透析を受けている人が夜中に呼吸困難を訴えたが、明朝まで様子を見ることにした。
- ② () 血液透析を受けている人の体重が増えすぎているようなので、水分や食事制限を厳守するようにした。
- ③ () 血液透析中に心不全を起こして亡くなる場合もある。
- ④ () 血液透析のシャントのある側の手では血圧測定や採血などを行ってはいけない。

4) 腎不全・腎機能障害に関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 過剰な摂取で腎臓に障害を起こす塩分は、塩化ナトリウムと言われる食卓塩であるとわかってきた。
- ② () 海水で作られる塩や岩塩などのミネラル豊富な天然塩は腎臓に障害を起こさないことがわかってきた。
- ③ () 扁桃腺が腫れやすく発熱しやすいタイプの人には、腎臓障害を起こしやすいと言われているため、早めに扁桃腺切除術を実施したほうが安心である。
- ④ () 日本の透析患者数は40万人以上、40%以上が糖尿病が原因である。

5) 腎不全・腎機能障害に関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 腹膜透析は、在宅で行うことができるので、通院回数が少なくすむ。
- ② () 尿検査は、糖尿病や腎臓病だけでなく、尿路感染症の診断にも有効である。
- ③ () 血液透析の導入時には、頭痛や吐き気が起こりやすい。
- ④ () 血液透析中は血圧は安定しているので安心である。

6) 事例問題

腎機能があまりよくない利用者さんが介護施設に入居されている。食生活の注意がうまくいかないと血液透析になり可能性が高いと主治医から言われている。介護職員として、食生活で気を付ける点はどのようなことか。

確認テスト 解答・解説

高齢者に多い疾患（腎不全・腎機能障害）

1) 解答 ①○、②○、③○、④○、⑤×

〈解説〉

⑤ × 透析中の食事制限では、タンパク質、塩分、カリウム、リンが制限される。牛乳にはリンが多く含まれるので、透析治療を行っていれば、牛乳も控える。

2) 解答 ①○、②○、③×、④○

〈解説〉

③ × 腎機能障害になりやすいのは、若いころから血圧が高かった人である。腎機能障害のリスクファクターは、糖尿病、扁桃腺や咽頭炎などからの感染、高血圧、飲酒、喫煙、肥満、運動不足などである。

3) 解答 ①×、②○、③○、④○

〈解説〉

① × 透析治療中の人は心不全を起こしやすく、呼吸困難の症状が出現することがあるので、夜中に呼吸困難を訴えた場合は速やかに受診する。透析専門のクリニックなどでは夜間診療を行っていない場合もあるので、主治医と事前に話し合っておき、夜間に体調不良となった場合はどの病院を受診するかなど受診できる態勢を整えておくことが大切である。

4) 解答 ①○、②○、③○、④○

5) 解答 ①○、②○、③○、④×

〈解説〉

④ × 血液透析中は血圧は安定していないので、注意が必要である。

6) 解答例

腎機能の悪い方の食生活で最も注意をする点は、塩分制限である。特に近年では、すべての塩が悪いわけではなく、塩化ナトリウムの多いさらさらした食卓塩をできる限り避けるように注意をして、調理で使用する塩は岩塩などのミネラルの多いタイプを使用する。醤油やソースなどは減塩タイプを使用して、料理にはかけるのではなく、つけるようにした方が使用量が少なくて済む。レモンやゆずなどをかけて、塩を使わなくても済むような工夫をする。加工品にも塩化ナトリウムの塩が使われているので、できる限り食材を調理するようにして、加工品の使用量を減らすことも重要なポイントである。

【参考文献】

- 1) 岩下馨歌里：研修用DVD安心安全ケア教育 下巻，日総研出版，2012.
- 2) 介護人財育成ぶらすVol. 5, No. 7（特別編集号），日総研出版，2008.

教材作成

有限会社ファイブアローズ 取締役 岩下由加里

※本教材は「介護研修115の問題用紙」（日総研出版）の教材を大幅に加筆修正したものである。